

平成25年度学年末における通知表（あゆみ・連絡票）の誤記載及び誤配付について

市立小中学校において3月に配付した学年末の通知表について、491校（小学校343校、中学校148校）中、12校91人の誤記載があったことが保護者からの指摘等により判明しました。また、1校1人の通知表の誤配付がありましたので報告します。

なお、児童生徒及び保護者への謝罪と説明、回収を行い、正しい通知表等を再配付しました。

【誤記載関係】

1 評価・評定に関する誤記載 合計 2校 55人

学校名	学年・人数・教科	誤記載の内容と原因
錦台中学校 (神奈川区西寺尾) 校長：枝迫 大成	2年2クラス 40人 英語科	・観点別評価を1～2段階、評定を1段階低く記載 ・原因は、集計ファイルの計算式を誤ったため
寺尾中学校 (鶴見区北寺尾) 校長：木藤 肇	2年3クラス 15人 英語科1人 理科14人	・英語科の観点別評価及び評定を1段階低く記載 ・理科の観点別評価を1～2段階、評定を1段階低く記載 ・原因は、両教科とも一部の評価に関わる情報が未入力のまま成績処理を行ったため

※「評定」は、その教科の「観点別評価」を総括的に評価したもの。（中学校は5段階で示す。）

※「観点別評価」は、各教科について「知識・理解」などの観点（教科により4～5観点）毎に、A、B、C等の3～5段階で評価するもの。

2 出欠席日数等に関する誤記載 合計 10校 36人

学校数	人数	誤記載の主な内容
小学校9校	34人	・出欠席日数、児童が所属するクラブ名、委員会名
中学校1校	2人	

(裏面<資料>参照)

3 誤記載が発生した主な原因等

- (1) データ入力を誤り、手順書に基づいた点検作業（ダブルチェック）が行われなかった。
- (2) 児童生徒一人ひとりを思い浮かべ、原簿の正確な作成及び確実な点検ができていなかった。

4 再発防止に向けた取組

- (1) 正確な原簿作成、確実な入力、毎日の出席簿の記入など、通知表作成に関わる基本的な対応に、学年内や教科内などで組織的に取り組みます。
- (2) 当該校で作成した「通知表（あゆみ・連絡票）の誤記載等の防止のための手順書」に沿って点検するよう、徹底していきます。
- (3) 昨年度から取り組んでいる「①子ども一人ひとりをしっかり見つめる、②原簿を正確に作成する、③原簿と確実に照合する、④コンピュータ等を過信しない」の4つの誤記載防止に向けた視点を再確認し、徹底していきます。
- (4) 方面の学校教育事務所ごとに、引き続き、研修会や学校訪問において誤記載防止に向けた取組についての啓発を行います。

(裏面あり)

【誤配付関係】

1 誤配付の状況 合計 1校 1人

学 校 名	学年・人数	誤配付の内容と原因
太尾小学校 (港北区大倉山) 校長：横山 明	3年1クラス 1人	修了式を欠席した児童の通知表の出欠席日数を修正した際、別の児童の通知表を誤って印刷し、保護者に手渡した

2 再発防止に向けた取組

子ども一人ひとりを見つめ、名前と本人とを確認しながら配付するという基本を徹底します。

《資料》 出欠席日数等に関する誤記載一覧

	NO	学校名	誤記載の内容	人 数
西部	1	若葉台小学校	出欠席日数	2
	2	岩崎小学校	出欠席日数	19
	3	四季の森小学校	出欠席日数	3
	4	今宿南小学校	出欠席日数	1
	5	東野中学校	出欠席日数	2
	6	本宿小学校	クラブ名・委員会名	2
南部	7	小坪小学校	出欠席日数	1
	8	南台小学校	出欠席日数	2
	9	俣野小学校	出欠席日数	2
北部	10	つつじが丘小学校	出欠席日数	2
合 計				36